

お知らせ

[Mihoko Iijima](#) · 2020年11月2日

テクノロジーボーナス詳細 InterSystems IRIS プログラミングコンテスト：Interoperability（相互運用性）コンテスト

開発者の皆さん、こんにちは！

[Interoperability（相互運用性）コンテスト](#)の続報の「テクノロジーボーナス」について紹介します。

対象となる技術は、以下の通りです。

- BPL エディタを利用したビジネス・プロセスの開発、または、ビジネスルールとデータ変換（DTL）を使用した開発
- カスタムアダプタを使用した開発
- プロダクションエクステンション（PEX）Java または .NET を使用した開発
- ワークフローエンジンを使用した開発
- ZPM パッケージによるデプロイが行える開発環境
- Docker コンテナを使用した開発

それぞれの詳細については以下ご参照ください。

BPL エディタを利用したビジネス・プロセスの開発、または、ビジネスルールとデータ変換（DTL）を使用した開発 - 1 point

IRIS の [Interoperability（相互運用性）プロダクション](#)の特徴の1つである、BPL エディタで記述できるビジネス・プロセスがあります。また、ビジネス・ルールは、Interoperability プロダクション内で実行したい処理を、ノーコード/ローコードのアプローチで指定できる開発エディタです（ビジネス・ルールを利用するためには、構築済ビジネス・プロセスを使用します）。

以下参考ドキュメントをご参照ください。

- [Interoperabilityの動作の仕組みについて記事](#)
- [プロダクションについての解説する記事](#)
- [ビジネス・プロセスについて解説する記事](#)
- [ビジネス・プロセスの作成方法を解説するドキュメント](#)
- [ビジネス・ルールのサンプルコード](#)
- [ビジネス・ルールのドキュメント](#)

カスタムアダプタを使用した開発 - 1 point

InterSystems Interoperability プロダクションでは、プロダクション内のビジネス・サービスやビジネス・オペレーションの開発に、外部システムとの通信を簡単に行うことができる「インバウンド/アウトバウンド・アダプタ」を利用することができます。アダプタは独自のカスタマイズを行うこともでき、今回のコンテストでは、カスタムアダプタを使用することでボーナスポイントを獲得できます。

[カスタムアダプタ例（サンプル）](#)

[既存アダプタの種類についてはこちら](#)をご参照ください。

Production EXtension (PEX) を使用した開発 - 2 points

PEX は、Interoperability プロダクションの Java / .NET 用拡張機能です。

プロダクションの開発に、Java / .NET の PEX を使用した開発を行った場合、ボーナスポイントを獲得できます。

詳しくは、[デモ](#)や [PEX のドキュメント](#)をご参照ください。

ワークフローエンジンを使用した開発 - 1 point

IRIS Interoperability の1つの機能である「ワークフロー」は、一連の処理の中に「人の介入」を含むことができます（次のステップに移動するために、目視を必要とする / 人による選択が必要などの処理を追加できます）。

ワークフローを含めた場合ボーナスポイントを獲得できます。

[ワークフローのドキュメント](#)

[WorkflowAPI](#) と [WorkflowUI-ngx](#)

というコミュニティモジュールもあり、Angular上に動作する素敵なUIレイヤーを提供しています。

ZPM パッケージによるデプロイが行える開発環境 - 1 point

フルスタックアプリケーション用に ZPM (ObjectScript Package Manager) パッケージをビルドして公開し、ZPM でデプロイできるように開発した場合、ボーナスポイントを獲得できます。

以下、ZPM クライアントがインストールされている IRIS でのコマンド実行例です。

```
zpm "install your-full-stack-solution-name"
```

[ZPM](#) クライアント、[ドキュメント](#)もご参照ください。

Docker コンテナを使用した開発 - 1 point

Dockerコンテナ上で動く IRIS を使用した場合、ボーナスポイントを獲得できます。

以下の開発テンプレートを使用すれば、ボーナスポイントを獲得できます。

- [IRIS Interoperability Template](#)

掲載されている技術の使用方法について、ご質問がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

